進捗報告書 （資金分配団体）

事業名:	福島の子ども・若者をコロナ禍から守る
資金分配団体:	一般財団法人ふくしま百年基金
実行団体数:	7団体
実施時期:	2020年8月～2021年10月
事業対象地域:	福島県
事業対象者:	新型コロナウィルス感染症拡大の影響で心身の健康が蝕まれている子ども・若者

Version 1.0

日付： 2021年5月13日

Ⅰ．事業概要

事業概要
感染症拡大の影響を受けて心身の健康に不調をきたし、日常生活や成長に困難を抱える福島県内の子ども・若者を守り、その育成支援のための活動を実施している、あるいは計画しているNPO等の民間非営利団体を公募し、当該活動を実施するための資金を助成する事業を実施する。公募に際してオンラインによる公募説明会を開催する他、採択団体に対しては事前評価・事後評価、月次進捗確認等の伴走支援を実施する。公募は1回とし、5団体程度の採択を予定している。

Ⅱ．進捗報告の概要

総括
全体として大きな問題なく進捗している。事業の公募・選定については予定通り完了し、当初予定では５団体程度を採択する計画であったが、より多くの団体に支援を届けたいと全部で７団体を実行団体としてお迎えした。 非資金的支援としては、実行団体の選定後概ね毎月1回程度、オンライン及びオフラインでの進捗確認面談を実施し、伴走支援を行なった。また、5月にはオンライン活動報告会を開催し、実行団体間の交流促進を図った。

Ⅲ.活動実績
資金支援

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①伊達市の小学生延べ300 名が地域学習サポーターによる学習支援を受けている状態 ②生活困窮家庭の子供達に食料の支援がなされている状態 ③会津若松市に屋外遊び場ジム「もくジム」が新設されている状態 ④社会とのつながりを失った若者に対し、郡山市での農業体験とお試しカフェの研修の場が提供されている状態 ⑤コロナ禍において、子ども若者自身がコロナ禍での願いや課題を郡山地域に発信できる場がある状態 ⑥郡山市において、子ども若者を支援する団体・個人同士がコロナ対応の悩みやナレッジの共有ができる仕組みがある状態 ⑦生活困窮世帯・ひとり親世帯・ひきこもりの子どもがいる世帯を中心に福島県南地域30世帯に対し訪問型支援（相談・食事提供）が実施されている状態 ⑧白河市において、DV被害母子計24組が緊急入居支援を経て自立、退所後安全な生活を送っている状態 ⑨デートDV被害を受けている当事者は自分の置かれている状況を理解でき、必要に応じて電話で相談をすることが出来る状態	①2021年4月より事業をスタートする予定。各回10名定員で学習支援を実施している ②現地で支援活動を行なうNPOを通じて、毎月およそ10万円規模の食料支援が実現できており、これまでに約70万円の支援を実施している ③2021年4月に計画を少し遅延してオープンした。遅延の理由は大雪の影響など。その後、会津若松市において新型コロナウイルス感染症患者が急増した影響から、5月に一時的な休業を余儀なくされている ④定期的に農業体験とお試しカフェの研修の場が提供されており、多くの利用者が研修を受講できている。農業体験は4月はのべ19名（実数6名）、お試しカフェはのべ20名（実数6名）が利用している ⑤子ども・若者が声をあげ、自己実現できる場としての居場所事業を提供できている（5月までの利用者数はのべ147名）。居場所自体の利用促進のためにできることを子ども・若者が主体的に関わる仕組みとなっている ⑥子ども・若者を支援する団体が集い、ナレッジを共有する「車座会議」が開催されている。10団体程度が集っている ⑦訪問型支援が実施されているが、来所型へのニーズが高まっていることなどから、当初計画に比べて訪問型は限定的である。訪問型は4月には新規4世帯が利用している ⑧ニーズの高まりと共に入居希望者が増えているが、一回に受け入れられる人数は4名と限定されている。自立した利用者も数多くいる ⑨デートDV被害について相談できる電話相談窓口が開設され、被害当事者が電話で相談することが徐々にできてきている。4月は4件の相談が寄せられた

実行団体名	進捗状況	概要
Life for Mothers	計画通り	2021年4月より事業を開始する当初計画の通りである。
がんばろう福島、農業者等の会	計画通り	雇用したシングルマザーは、いずれも活き活きと活動している。それぞれの経験や専門性を活かし、少しづつ安定に向けて歩んでいる様子が伝わってくる。休憩所や作業スペースの改修・修繕については、DIYによって滞りなく作業を進めている。ただし、耐震補強等、専門性の高い作業が必要な箇所については専門業者に見てもらうことも含め、検討を進める。子どもたちへの食料支援については、子どもたちの希望（仲介NPOからの情報）や野菜・果物の旬をうまく捉え、毎回同じ食材とならないようにするなど、団体独自の工夫も伺える。
Lotus	ほぼ計画通り	もくジムについては、大雪の影響で着工がやや遅れたものの、2021年4月にはオープンすることができた。もくれんの無料開放については、SNSの活用や申込方法の工夫によって徐々にターゲット層にアプローチすることができてきている。乳児院や会津支援学校との連携は、6月から開始予定である。子育て支援ネットワークについては、当初計画した「ネットワーク」として団体が集合することはコロナ禍においては難しいと判断し、ネットワーク事務局を設置する方針へと変更した。
キャリア・デザイナーズ	ほぼ計画通り	農業体験については実際の現場も視察させていただいたが、スタッフと利用者のコミュニケーションが良好で、楽しそうに活動に取組む様子を拝見することができた。引きこもり当事者の支援は、継続と信頼が肝要であることから、団体の今後の活動にも大いに期待したい。家族会や地域向けセミナーについても、当初計画通りにスケジュールされ、実施された。これまでの経験からイベントの開催ノウハウもあり、いずれのイベントも滞りなく実施された模様である。アンケート結果からも好評であることが伺える。
こおりやま子ども・若者ネット	ほぼ計画通り	高校への出前講座や若者会議の準備については、当初計画より多少の遅れはあったもののうまくリカバリし、現在は予定通りの進捗となっている。今後のスケジュールもきちんと立っている。高校生への居場所の提供について、新年度を迎えることで新しい利用者が増えることが見込まれることから、今後の動きを注視している。行政への政策提言について、行政側の反応が鈍く当初思い描いていたような進捗とはなっていないようだが、団体として代替案を考案して対処するなど、非常に戦略的に活動している様子が伺える。
KAKECOMI	ほぼ計画通り	アウトリーチ型子ども食堂については、当初想定した件数には達していないものの、それは来所型の子ども食堂にニーズが移行しつつあることが影響していると考えられ、大きな課題ではない。学習支援について、年度の切り替えにあたり、これまで「教えられる」側だった子どもたちが「教える」側に移行するタイミングとなるため、注視したい。シェルター事業については、特に地域社会からのニーズが高まっており、入居を希望する方が多く、事情が深刻な場合にはお断りし、警察等へリファーせざるを得ないケースも増えてきているという。
ウィメンズスペースふくしま	ほぼ計画通り	地道なカード配布やメディアを使った広報、SNSを使った広報、学校への訪問などが実を結び、徐々に地域でお困りの方々と繋がるようになってきた。毎月の面談でも、深刻化した地域の課題感について、臨場感のある報告を受けており、改めてこうした電話相談窓口の必要性を実感するところである。若年層、特に高校生への啓蒙活動の一環として、リーフレットの制作を進めている。リーフレットには高校生の声も反映させたいと精力的に制作に取り組んでおり、完成が待ち遠しい。

非資金的支援（資金分配団体の伴走支援活動）

活動	進捗状況	概要
事前評価の実施支援	計画通り	実行団体の事業計画・資金計画の見直しをサポートし、事前評価として実施した。

事後評価の実施支援	計画通り	（2021年10月頃に実施の予定）
月次の実施状況確認と事業実施に関する助言等	計画通り	概ね毎月1回、主にオンラインミーティングツールを活用して実施状況を確認した。確認の中で必要に応じた助言等を実施している。
事業の実施状況・取り組み事例の共有に資する情報公開等	計画通り	2021年5月にオンラインミーティングツールを活用した事業報告会を開催し、各実行団体間で取り組みの内容を共有したほか、交流の機会を提供した。

Ⅳ. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
各実行団体の精力的な活動によって、徐々に目標とする状態に近づいていると考える。子ども・若者への支援は面的な広がりが拡大しているだけではなく、例えば一部の実行団体同士で新たな支援活動の連携が生まれるなど、質的な広がりも担保されつつある。事業後半期も、目標の達成に向けて実行団体と連携しながら進めて参りたい。

Ⅴ．インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥12,500,000	¥12,500,000	¥25,000,000	¥9,889,711	40%
	管理的経費	¥2,448,000	¥1,836,000	¥4,284,000	¥2,066,380	48%
プログラム・オフィサー関連経費		¥437,000	¥279,000	¥716,000	¥245,219	34%
合計		¥15,385,000	¥14,615,000	¥30,000,000	¥12,201,310	41%

補足説明	

Ⅵ. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
福島県内においても、コロナ禍の影響が徐々に深刻になりつつある。4月以降、特に会津若松市やいわき市においてその傾向が顕著であるが、会津若松市には実行団体もおり、その影響が心配される（実際に開設した施設が休業に追い込まれるなど深刻な影響が発生している）。実行団体の多い郡山市も都市部であることから感染の拡大がいつ発生してもおかしくない状況であること等にも鑑みて、万が一影響が深刻化した場合の対処方法などを予め検討しておきたいと考える。

Ⅶ. その他

自由記述

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	・公募開始、採択団体決定のリリース ・採択団体による記者発表
広報制作物等	無	

報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	・理事会については定時及び臨時、評議員会については定時で開催している
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	・整備されている
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	・役員から兼業届を提出いただくなどしている
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	・情報公開を行なっている
5. コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。	はい	・9月、3月に開催している